

こころ豊かに

～地域に学び、暮らしを豊かに～



① お年寄の知恵に学ぶ
—世代間交流学習—原町市大薮小学校

県内には、地域に学ぶ学習を実践している市町村、学校がたくさんあります。地域の暮らしを学習に取り入れ、地域に学ぼうとする実践です。本誌では、その中から5つの実践例を紹介します。

- ① 昔からの遊びを伝承しようと、地区の老人会との交流の場を教育活動に取り入れ「凧」「お手玉」「竹馬」の作り方や遊び方をお年寄りから学んでいます。
- ② 村内の小学生たちが、「一日村議」となったの「ミニ議会」が開かれました。村役場の本物の議場を使い、答弁も実際の村長以下、村幹部らがあたるという本格的なものでした。
- ③ 長い風雪に耐え、地域の人々の暮らしの中に生きる民俗芸能、30年ぶりに復活した田植踊りです。
- ④ 地元・会津本郷町は、古くから地場産業としての陶磁器生産が盛んで、生徒たちは各窯元の協力のもとにその技法を学び、陶芸作品の制作に励んでいます。
- ⑤ 地域のおじいさん、おばあさん方のリードで、楽しい踊りの輪を広げました。(県養護教育地域交流推進事業)



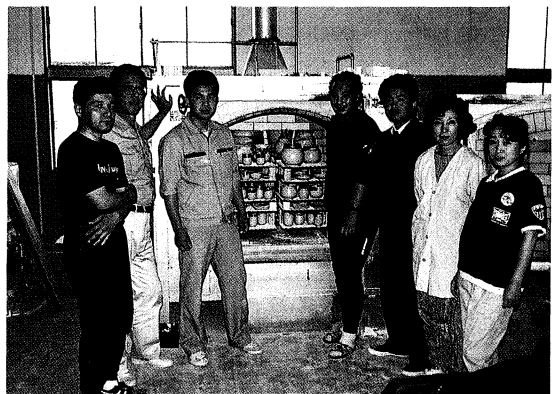
③ 八和木の田植踊り (飯館村)



② 「1日村議」村づくり、議会の仕組みを学ぶ
「郷土を愛する人をつくる」西郷村青年ふるさと学習実行委員会



⑤ 一心通じて、みんなでおどる—
県立大笹生養護学校



④ 聴講生の皆さんの「窯出し」、
県立会津工業高等学校本郷分校